

# れんげい

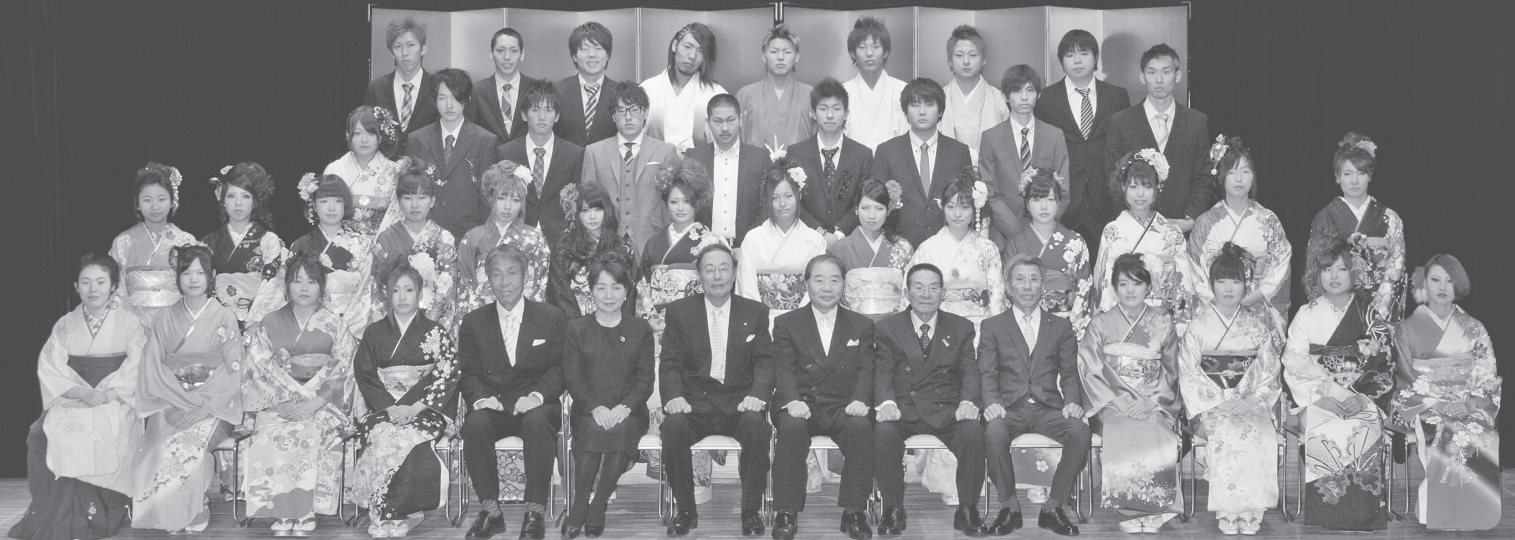
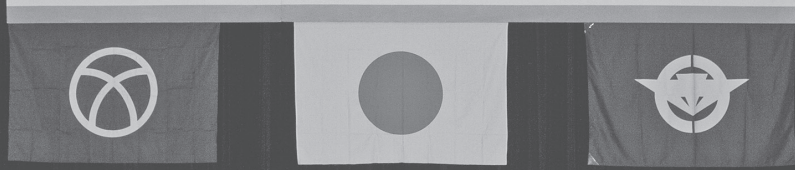


## もくじ

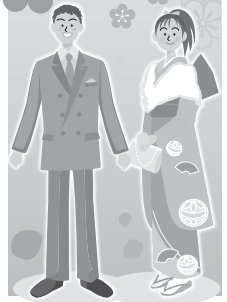
成人式、出初式	2
むらまち情報〈和束町〉	4
むらまち情報〈南山城村〉	6
むらまち情報〈笠置町〉	8
きょういく	10
地域情報	13

第83号  
2013.2

2013 祝成人  
和束町



## れんけい

祝  
成人

一月十四日の成人の日、相模原市緑区立総合教育センター主催による平成二十五年成人式が、和束町並びに南山城村の二会場で開催されました。

あいにくの天候となったこの日、和束町では四十八人が成人の日を迎え、和束町社会福祉センターにて、多くの来賓や恩師に見守られながら、厳かに式典が執り行われま

した。式の終わりに、新成人を代表して荒木悠平さんが『和束町に生まれたことに誇りを持ち、一人一人が責任をもつて行動し、夢と希望のある社会人として、多くの方から期待される大人になることを誓います。』と力強く決意表明をしました。

その後の茶話会では、小学校卒業時に制作したタイムカプセルを開けて、懐かしい思い出の品とともに、旧友や恩師との昔話に花を咲かせていました。



一方、笠置町と南山城村でも合わせて四十八人が成人の日を迎えました。朝か



重し、社会人としての責任と義務を果たします。』と宣言し



ら降り出した雪で真白に染まったやまなみホールに、色鮮やかな振袖や袴姿の新成人が集い、新しい門出を祝いました。

新成人の誓いの言葉では、小林慶雅さんと久保綾香さんが、『これから社会の一員として、それぞれの立場を重んじ、互いを尊

ました。式の後には、記念演奏会や茶話会が催され、また呈茶席も設けられて、小中学校時代の思い出話や近況報告などをしながら、懐かしい友人との旧交を温めていました。

利便性を求めて、生まれ育ったふるさとを離れていく若者が増えてきた三町村ではありますが、こうして世代がいつまでも我がふるさとを愛し、我がふるさとを誇りに思い、家族や友達を大切にしながら、それぞれの場所で活躍されることを大いに期待しています。



## 出初式

新春恒例の消防出初式  
が行われました。



ラッパ演奏

笠置町消防団は1月6日に、和束町消防団・南山城村消防団では13日に、それぞれ出初式が開催されました。式典では、消防団活動で功績のあった団員に対し、消防団優良団員表彰が授与され、その後、放水演習やラッパ隊によるラッパ演奏、南山城村消防団では、昨年10月から出初式に向け取り組んできた教養（各個・礼式・小隊）訓練の披露が行われました。また、7日には相楽中部消防組合出初式が行われ、ハシゴ車などを使ったより専門的な訓練展示なども行われました。



### 笠置町

【京都府消防協会会長感謝状】 元団長 寺阪 利満	【京都府消防協会会長表彰】 精績章 副本部長 徳岡 和洋 精勤章 第四部 部長 鈴木 慶一	【京都府消防協会相楽支部長表彰】 第一分団 班長 西口 努	【笠置町消防団永年勤続功労表彰】 第四部 部長 鈴木 慶一 第二部 班長 西口 努 第一部 班長 西 孝浩 第八部 班長 尾上 嘉洋	【笠置町長表彰】 第二部 団員 山口 和斗	【笠置町消防団長表彰】 第一分団 団員 川崎 隆次 第一分団 団員 坂本 亮人 第一分団 団員 坂井 岳司 第一分団 団員 糸井 彦彦 自動車部 団員 矢野 邦彦 自動車部 団員 邦彦
-----------------------------	---	----------------------------------	--	--------------------------	--



消防操作演習

### 和束町

【退職消防団員感謝状】 元湯船分団 分団長 久保 寿己 元中分団 分団長 吉田 和生	【京都府消防協会会長表彰】 精績章 中分団 分団長 辻 由典 精勤章 湯船分団 分団長 田中 雅久 湯船分団 分団長 吉田 研二 湯船分団 副分団長 前田 穰	【京都府消防協会相楽支部長表彰】 湯船分団 第二部 部長 柚木 高史 東分団 第三部 部長 大谷 毅 東分団 第一部 部長 中屋 恵造 西分団 第四部 部長 大西 勝幸 西分団 第一部 部長 西田 祥史
--	---	--

### 南山城村

【京都府消防協会会長表彰】 功績章 副団長 垣谷 克彦 精勤章 第一分団 副分団長 清水 昌典 精勤章 第一分団 副分団長 柴垣 紀行 精勤章 第一分団 副分団長 蛭川 尚	【京都府消防協会相楽支部長表彰】 第一分団 第二部 部長 上田 範之 第一分団 第二部 部長 仲田 裕司 第一分団 第三部 部長 奥仲 健二	【南山城村消防団長表彰】 第一分団 第四部 部長 西山 英男 第一分団 第七部 部長 横畑 浩二 第一分団 第一部 班長 北本 勝巳 第一分団 第二部 班長 北本 一朗 第一分団 第四部 班長 頭鬼 稔	【南山城村消防団長表彰】 第一分団 第五部 班長 屋敷 浩彦 第一分団 第五部 班長 石田 晴嗣 第一分団 第七部 班長 藤原 雅人 第一分団 第七部 班長 藪仲 孝樹	【南山城村消防団精勤章】 第一分団 第四部 班長 廣尾 章 第一分団 第三部 班長 北本 健人 第一分団 第四部 班長 岡本 康昌 第一分団 第三部 班長 長谷川 龍志 第一分団 第三部 班長 乾 徹
--	---	--	--	---

笠置町消防団では、平成24年4月に消防団組織改編を行い、以前あった役職の「分団長」、「副分団長」を廃止、新たに「本部長」、「副本部長」が創設されました。

### 【和束町長表彰】

東分団 副分団長 岡田 晃 湯船分団 第二部 班長 長西 朋宏 中分団 第二部 班長 岩崎 安彦 西分団 第一部 班長 森脇 一起 西分団 第一分団 班長 西田 清秀	【和束町消防団長表彰】 東分団 第三部 班長 細井 堅太 東分団 第二部 班長 藤井 和善 湯船分団 第三部 班長 藤原 拓人 湯船分団 第二部 班長 西川 武志 東分団 第二部 班長 岡田 泰亘 東分団 第四部 班長 岡本 慎也 中分団 第一部 班長 岡本 亮人 中分団 第二部 班長 西山 剛
---	--



教養訓練展示

【南山城村消防団長特別表彰】 第22回京都府消防操法大会5位入賞 第一分団 指揮者 蛭川 尚 第一分団 第一番員 横畑 浩二 第一分団 第七部 二番員 五十嵐聡志 第一分団 第七部 三番員 櫻井 大輔 (順不同・敬称略)
--



# お正月あそび



## わづかほくえん

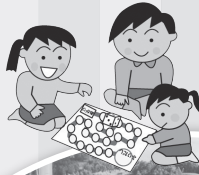


何が  
出なく...  
出るゲーム

一月十日(木)和東保育園では、お正月遊びが行われました。この日のお正月あそびは、異年齢グループで行われ、五歳児がお兄さん・お姉さん役に、そして三・四歳児が弟・妹役になり、三人から四人のグループを組み「すごろく」、「かくわらい」、「作ってあそぼう」のコーナーで楽しみました。

年長の園児は小さな子が迷子にならないように気を配り、手をつないで歩くほほえましい姿も見られました。

また福笑いのコーナーで



犬も歩けば  
.....  
は〜い!

は、順番に目かくしをして、目と鼻と口を順番に並べ、できあがりを見て、笑いの渦が起こっていました。

作って遊ぼうのコーナーでは、たんぼぼの綿毛や花びらが空を飛んでいるイメージの、折り紙おもちゃ「花コプター」を作りみんなで飛ばしあいを楽しみました。

午後からは、五歳児が作った大型カルタをグループ別に行い、読み札に合わせて絵札を元気いっぱい取っていました。この日は給食やおやつもお正月遊びのグループで食べ、年齢のちがう園児同士で楽しく過ごしました。



熱〜い煎茶鍋で楽しくおしゃべり

# 熱〜いお鍋で

## 熱〜く語って

### 第一回「わづかまちづくりびと交流サロン」

十二月十五日(出)てらす和豆香で「第一回『わづかまちづくりびと交流サロン』」が開かれました。これは「わづかまちづくりびと井戸端会議」を通して出たいいくつかの活動テーマについて、参加者から「テーマ毎の話し合いをもっと続けたい」との声を受けて企画されたものです。

この日は、はじめに活動テーマ毎にリーダーが中心となって、それぞれ今後の活動の方向性などについてより深く掘り下げた話し合いが行われました。その後、恋茶グループさんによる「煎茶鍋」を食べ

ながら、和やかに谈笑。和東のお茶や野菜がふんだんに使われた愛情たっぷりの手づくり鍋に、みなさん大満足の様子でした。

次回の交流サロンの日程など、くわしくは和東町ホームページをご覧いただくか和東町役場地域力推進課(電話七八一三〇〇一内線三三三三)までお気軽にお問い合わせください。

# 和東町茶業史つうしん Vol. 1



和東町観光振興協議会では、和東町の茶文化について調査をしています。これから1年間、「和東町茶業史」作成でみなさまに教えていただいたことを、毎月ご報告していきます。よろしくお願いします。



今回は、石寺にお住まいの二瀧嘉久さん(大正12年生まれ)のお宅で、農具や古い道具が残る蔵の中に眠っていた「煎茶乾燥機(箱)」を見せていただきました。とても珍しいこの乾燥箱、紙張りの引き出し式で、引き出しの下に炭を入れて乾燥させるようで、まるで小型のホイロです。また紙には、うっすらですが、特産の柿渋が塗られてあるのも見えます。「茶が湿気てたとき、飲み量だけ再乾させたんちゃうかな。こんな日が目の見るとは」と微笑む二瀧嘉久さん。一生懸命作られたお茶をいつまでも美味しくいただきたい、という思いが伝わるひと品です。



蔵に眠っていた煎茶乾燥機。柿渋の塗ってある紙が朽ちているが珍しい。

## 和東町の“古い写真”募集します。



2月22日(金)~24日(日)に開かれる『春を呼ぶ 茶源郷からの灯り』で「古写真コンテスト」を行います。和東町で撮影された古い写真

ならどのようなものでもかまいません。ご応募いただいた中から審査を通過した作品を表彰します。ふるってご応募してください。お待ちしております。



明治39年の湯船村風景



明治39年の湯船村風景(右側には茶畑がある)

### 応募期日

2月8日(金) 必着

### 問合せ

和東町観光振興協議会事務局  
TEL 78-3001 (内線230)

## ご寄附ありがとうございました

「和東町ふるさと応援寄附金基金」へ次のとおりご寄附をいただきました。(平成24年12月)

氏名	住所	寄附金額
前田保正様	京都府宇治市	50,000円
匿名希望様	京都府木津川市	30,000円

ありがとうございました。お寄せいただいた寄附金は、和東町のまちづくりのため有効に活用させていただきます。

